

# 2020年度(2021年3月期) 決算概要について



Brightening the Future  
Since 1946

## 2020年度 通期決算概要（連結）

決算概況	2
ICリードフレーム部門	4
ICパッケージ部門	6
気密部品部門	8

## 2021年度 通期の見通し（連結）

売上高・損益	10
設備投資額・減価償却費・研究開発費	12

配当について	13
--------	----

## 決算概況

(単位：億円)

	2019年度 通期	2020年度 通期	前年度比	
				増減率
売上高	1,483	1,881	+397	27%
営業利益 (営業利益率)	32 (2%)	233 (12%)	+201	623%
経常利益 (経常利益率)	48 (3%)	265 (14%)	+217	451%
純利益※ (純利益率※)	27 (2%)	180 (10%)	+153	570%

※親会社株主に帰属する純利益

1株当たり純利益	19.92円	133.38円
----------	--------	---------

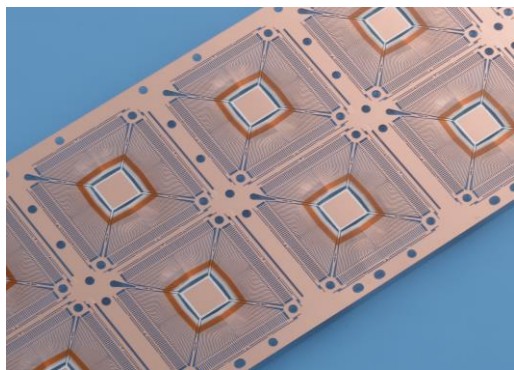
## 売上高：

- フリップチップタイプパッケージは、パソコン向け、サーバー向けなどの受注が大幅に増加するとともに、昨年10月から新ラインが量産を開始し、売上増加に寄与。半導体製造装置用のセラミック静電チャックは、好調な市場環境を背景に需要が大幅に拡大。プラスチックBGA基板は、新ラインの稼働開始などにより先端メモリー向けに売上が増加。リードフレームは、第3四半期に入って底打ちした自動車向けの売上が、その後さらに大きく回復したことなどにより増収。  
これらにより前期比27%増と大幅な増収。

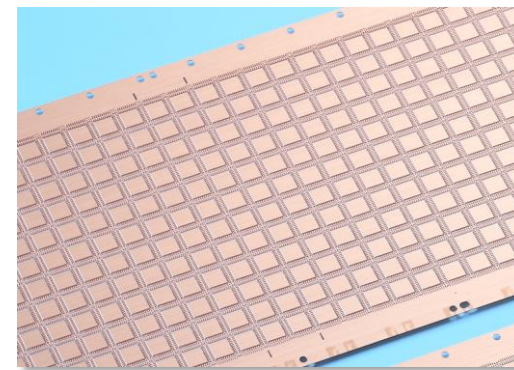
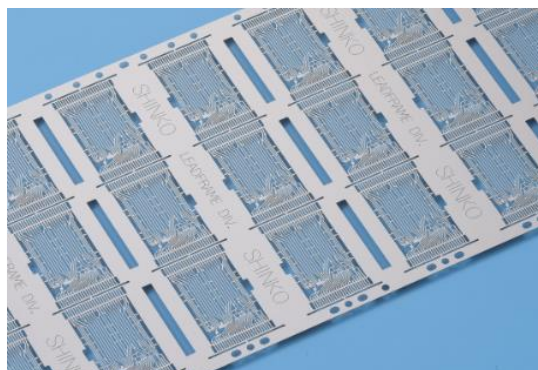
## 損益：

- 生産能力増強などによる高付加価値製品等の増加および収益性の向上などにより、前期比大幅な増益。

## ICリードフレーム部門



プレスリードフレーム



エッチングリードフレーム  
(QFNタイプ)

### 【主な搭載製品例】

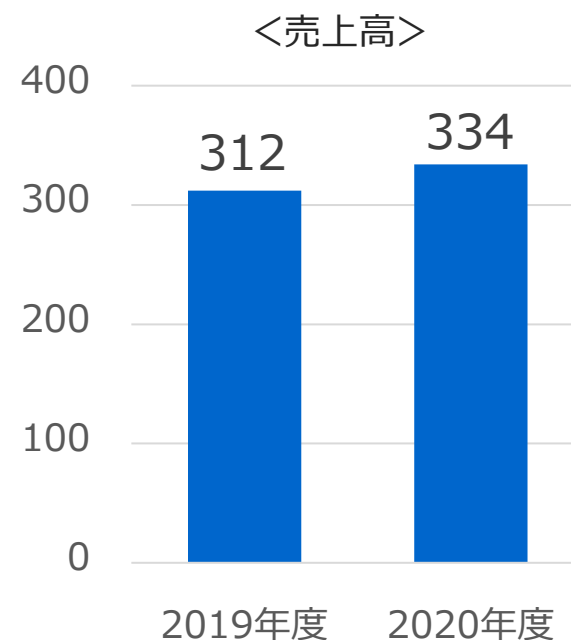
スマートフォン、自動車、パソコン、家電、産業機器 他

## ICリードフレーム部門

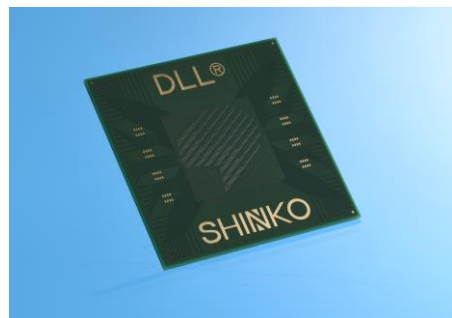
(単位：億円)

	2019年度 通期	2020年度 通期	前年度比	
			増減率	
売上高 (構成比)	312 (21%)	334 (18%)	+23	7%

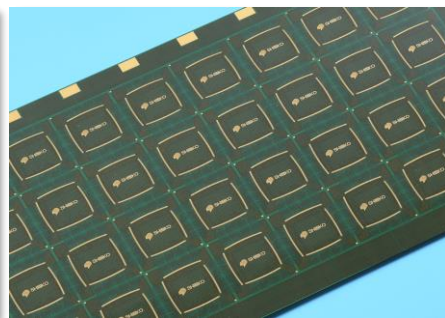
- 期前半において、新型コロナウイルス感染拡大による自動車需要減退等の影響を受けた
- エッチングリードフレームは、増産対応をはかってきたQFNタイプが幅広い用途向けに堅調に推移するとともに、期後半には自動車向け需要が回復したことなどにより増収
- プレスリードフレームは、第3四半期に入って自動車向けの売上が底打ちし、その後さらに大きく回復



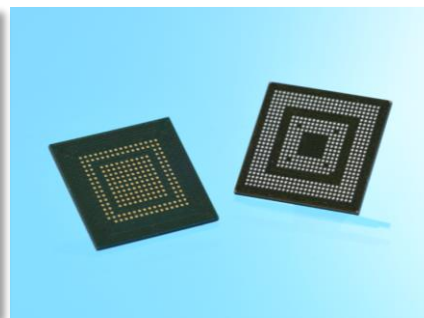
## I Cパッケージ部門



フリップチップタイプ  
パッケージ



プラスチックBGA基板



I C組立



ヒートスプレッダー

### 【主な搭載製品例】

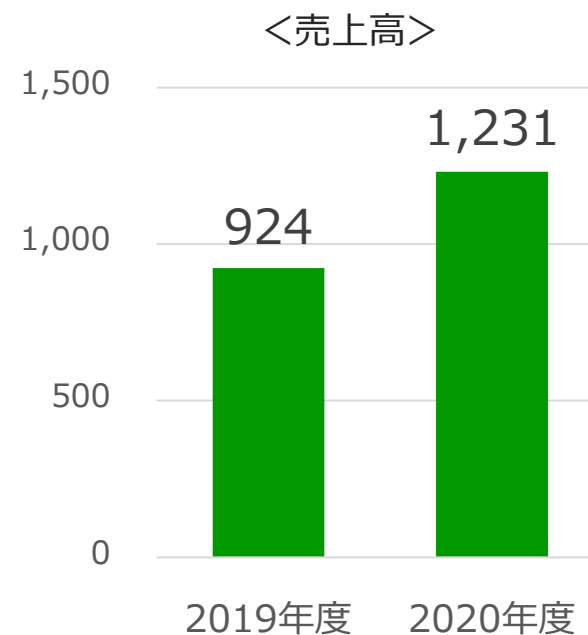
パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器 他

## ICパッケージ部門

(単位：億円)

	2019年度 通期	2020年度 通期	前年度比	
				増減率
売上高 (構成比)	924 (62%)	1,231 (65%)	+308	33%

- フリップチップタイプパッケージは、パソコン向け、サーバー向けに需要が大幅に拡大し、高丘工場における新ラインの量産開始が売上増加に寄与
- プラスチックBGA基板は、一層の小型・薄型化のニーズに対応する新ラインの稼働開始などにより、先端メモリ向けに受注が大きく増加
- IC組立は、ハイエンドスマートフォン向けの需要が拡大したことにより、増収





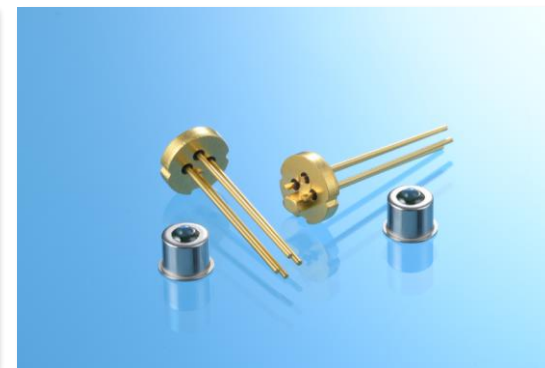
## 気密部品部門



セラミック静電チャック



光学機器用ガラス端子



光通信用ガラス端子

### 【主な搭載製品例】

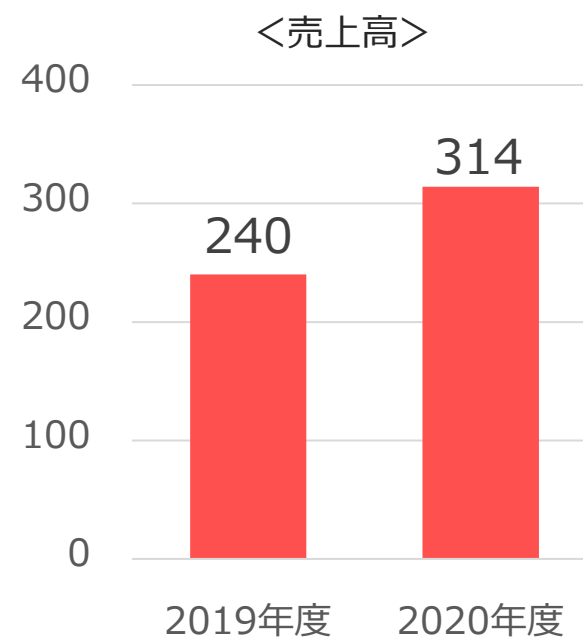
半導体製造装置、民生機器、通信機器、自動車 他

## 気密部品部門

(単位：億円)

	2019年度 通期	2020年度 通期	前年度比	
			増減率	
売上高 (構成比)	240 (16%)	314 (17%)	+74	31%

- セラミック静電チャックは、半導体製造装置市場における旺盛な需要を背景に売上が大幅に拡大
- ガラス端子は、期後半にかけて受注が回復傾向を示したものの、期前半において光学機器向けが低調に推移したことなどにより、減収



## 売上高・損益

(単位：億円)

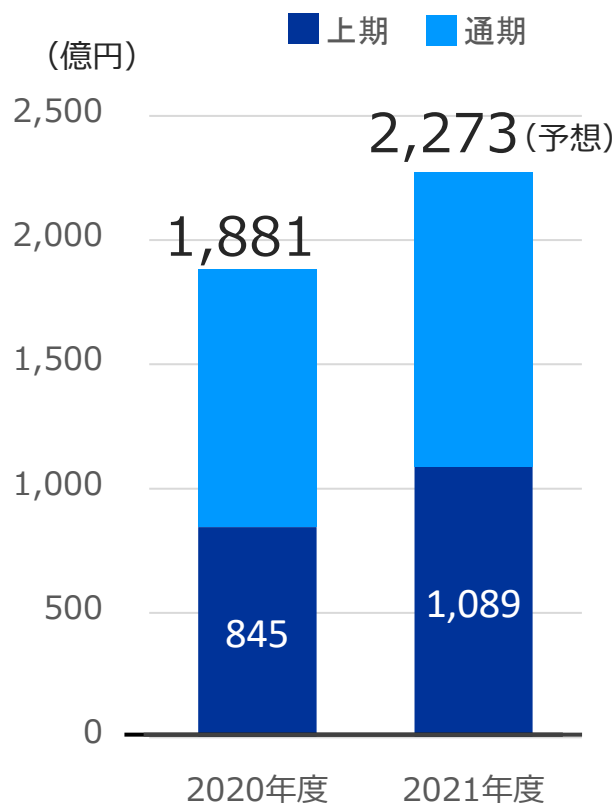
	2020年度 (実績)			2021年度 (予想)			前年度比 ※2	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		増減率
売上高	845	1,036	1,881	1,089	1,184	2,273	-	-
営業利益 (営業利益率)	72 (9%)	161 (16%)	233 (12%)	180 (17%)	154 (13%)	334 (15%)	-	-
経常利益 (経常利益率)	83 (10%)	182 (18%)	265 (14%)	181 (17%)	156 (13%)	337 (15%)	-	-
純利益※1 (当期純利益率※1)	56 (7%)	124 (12%)	180 (10%)	126 (12%)	107 (9%)	233 (10%)	-	-
為替レート	105円/\$			105円/\$				

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

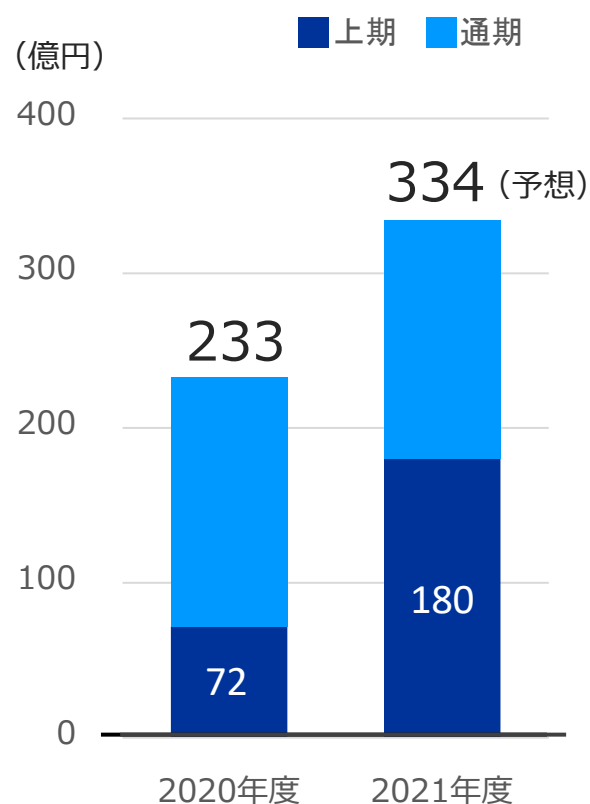
※2 2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準会計基準第29号)等を適用するため、2021年度の業績予想は当該会計基準等を適用した金額となっており、対前期比増減率は記載しておりません。

# 2021年度 通期の見通し (連結)

## 売上高

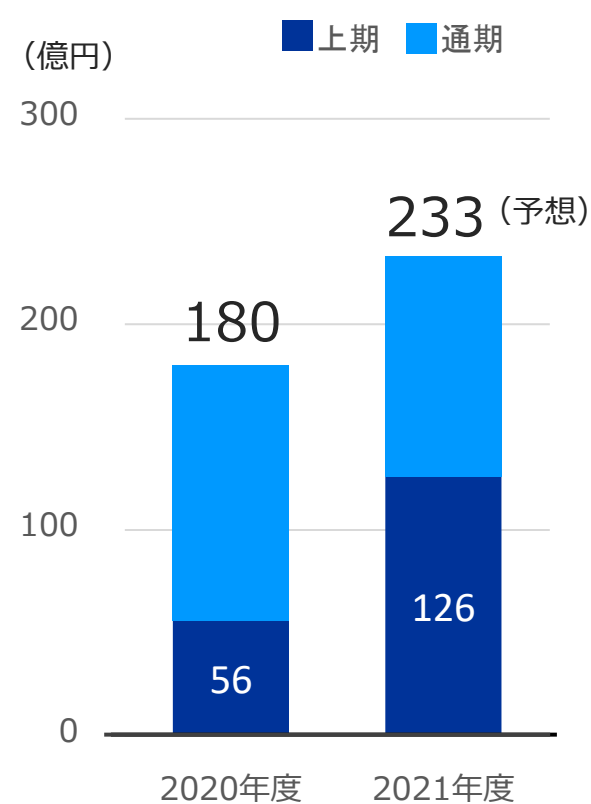


## 営業利益

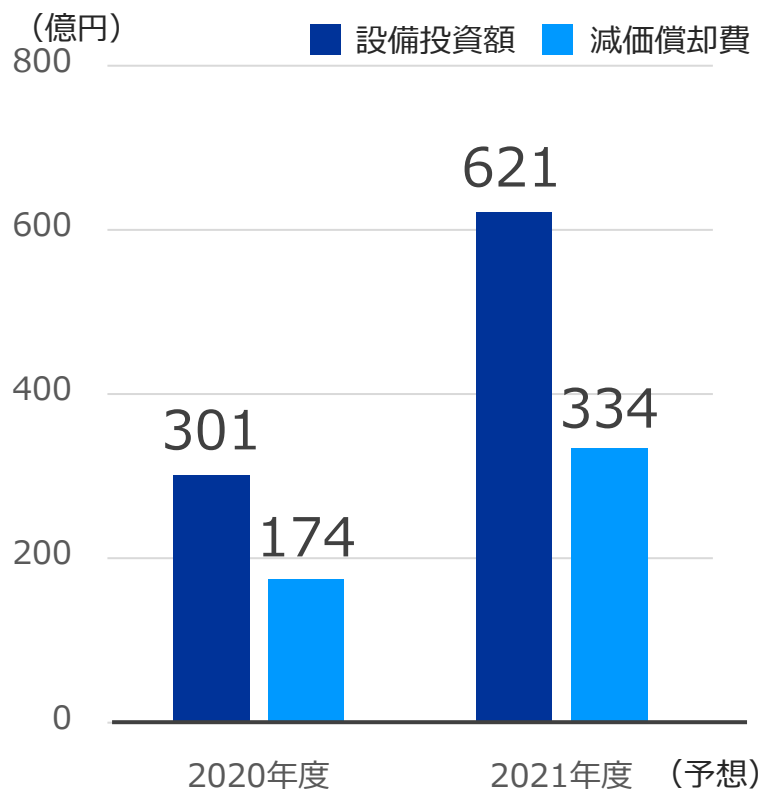


## 純利益

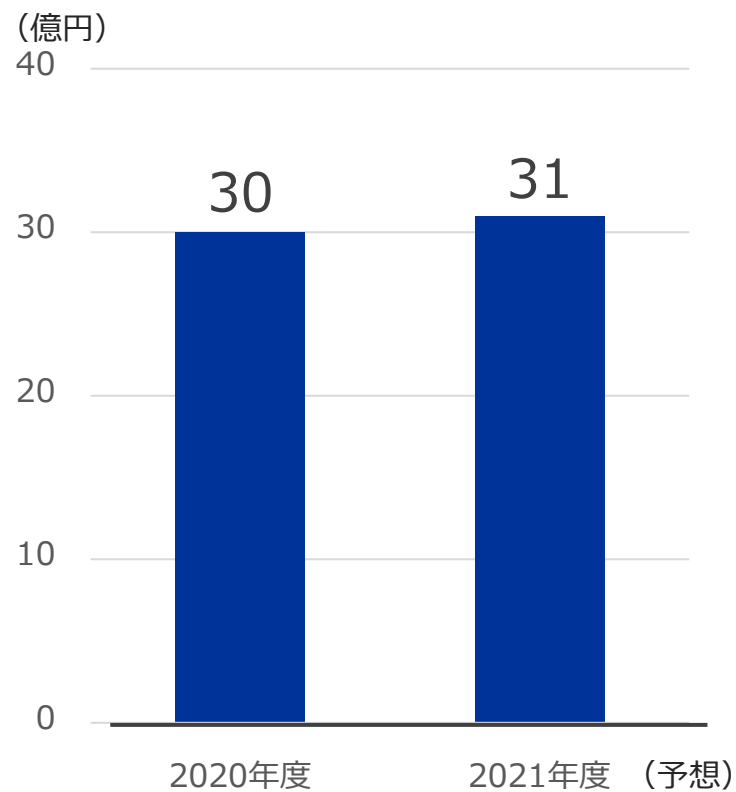
※親会社株主に帰属する当期純利益



## 設備投資額・減価償却費

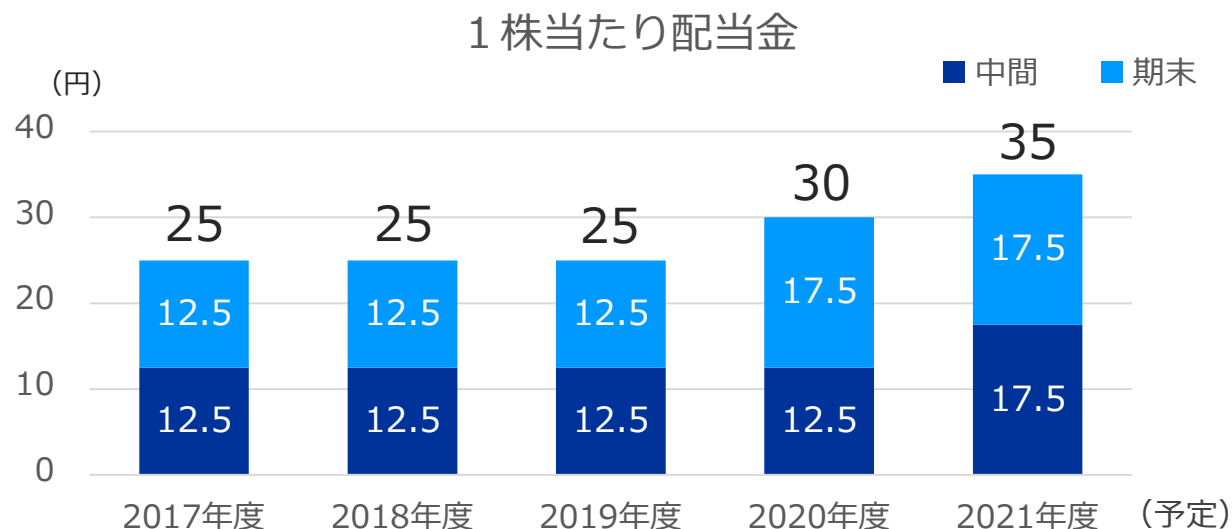


## 研究開発費



- 2020年度**
- ・ 中間配当：12円50銭
  - ・ 期末配当：17円50銭（普通配当15円・特別配当2円50銭）
  - ・ 年間30円（前期比5円増配・配当性向22%）

- 2021年度**  
**（予定）**
- ・ 中間配当：17円50銭
  - ・ 期末配当：17円50銭
  - ・ 年間35円（前期比5円増配・配当性向20%）



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づくものであり、将来の予想数値の実現を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位にて表示しております。決算短信等で百万単位で開示しております数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。